

M邸完成時 見学&セミナー

2009年7月19日(日) AM10:30 ~ PM12:00 (セミナー)

セミナーの前後に見学可 (AM9:30 ~ PM3:00)
(見学は無料です。)



GREEN PLANET

臨時号
2009.7.10

発行責任者・素木の会・吉野 勲
〒357 0063 飯能市飯能291
TEL 042・973・878
FAX 042・973・8075

セミナー「森と木の家」 講師 吉野 勲

現在、自由の森学園の「森と木の家」の講座を受け持つ吉野が、今回の家造りをおしてそのエッセンスをお話します。M邸を通して樹齢以上に長持ちする家について学びます。また、家は買い物となってしまった今日を、家造りとは建て主とつくり手でつくる視点が大切だということを知ってもらえればと思います。

資料代等 1000円 (1家族)

参加希望の方はお問い合わせください。案内図をお送りします。



建て方のとき



完成まじかの外観

M邸のみどころ

M邸は県道から少し奥に入った車の通りの少ない静かな場所に建っています。傾斜地をローコストで活かしました。夏は自然の風を取り入れて暮らせるように窓を大きく取りました。冬はペレットストーブで家全体を暖めます。浴室は床にコルクタイルを貼り、壁と天井に青森ヒバを使用しました。また、台所はシステムキッチンではなく、大工さんの手づくりです。プレカットにたよらず、伝統の仕口・継手により西川材の柱と梁を使っています。直営工事(素木の会情報参照)で建てられました。ぜひ、木の家のよさを感じてほしいです。

建て主：Mさん 設計：創夢舎・吉野 勲 施工：直営工事
所在地：飯能市原市場 【木工事：佐野工務店】
敷地面積：486.72 m² * 建築面積：82.81 m² * 延床面積：115.94 m²
* 1階床面積：82.81 m² * 2階床面積：33.13 m²

NPO 法人
西川木楽会
のお知らせ

西川木楽会は森づくり・地域づくりを通して、森林・林業への理解を深め、豊かな森と人の環境を次世代へ引き継ぐために、飯能市虎秀のユガテに山主さんと30年間の使用協定を結び活動しています。今年の総会で、森の環境とセラピーの取り組みが決まりました。

ときがわ町柵平山荘の建て方時 見学

2009年7月26日(日) PM1:00~4:00

柵平山荘は建て主が、ときがわ町柵平の山からの眺望を気に入り、山を買い、山荘造りが始まりました。昨年の秋に山から切り出した杉の大木を、自ら皮をむき、丸太のまま梁に使います。山地なので基礎工事が大変でした。ベース(基礎の床)と立ち上がり(壁)を一体打ち(分けずに1回で打つ)にしました。高さ2mの壁が見どころです。普通はベースが固まったうえでコンクリートの壁を打ちます。しかし、一体打にしたことで打ち継ぎ面をなくし、亀裂が入りにくく防水対策にもなります。また、伝統の仕口・継手による金物に頼らない建て方をしています。ぜひ、ご参加ください。

参加希望の方はお問い合わせ下さい。案内図をお送りします。



← 太鼓梁の刻み



↓ 打設した基礎

建て主: Kさん 設計: 創夢舎・吉野 勲 施工: 直営工事【木工事:(有)シミズ工務店】

所在地: 埼玉県比企郡ときがわ町柵平

敷地面積: 360.85 m² * 建築面積: 84.58 m² * 延床面積: 109.79 m²

* 1階床面積: 73.94 m² * 2階床面積: 35.85 m²

素木の会情報

直営工事のすすめ(テレビ飯能コラムより)

家は、ハウスメーカーや工務店に一括発注か、建て主の希望を適えやすい設計と施工を別けて発注するかが一般的。双方とも職人との関係は、建て主や設計者にとって間接的といえる。建て主が直接各職方に頼む分離発注や、さらにそれを設計者がサポートする直営工事は、本物の木の家をつくれる職人との直接対話が魅力的だ。数件の経験から施工管理の煩雑さからしり込みしがちだが、コストの透明性や家をつくる手ごたえなど、建て主にとっても有益な家づくり方と思う。

最近のプレカットに頼る家づくりに、大工の伝統技術の消滅の危機感を持っている。これまで六〇数件の伝統的構法の家づくりを通して、百年以上に家を長持ちさせるためには、職人の技術は不可欠と確信する

I 邸(所沢市)・H 邸(吉見町)の完成が近づいています。

見学ご希望の方はご連絡ください。

お問い合わせは素木の会事務局まで

電話 / 042 973 8788

FAX / 042 973 8075

Mail / somusya@hanno.jp

ホームページ / 「素木の会」「創夢舎」